

株式会社 出石まちづくり公社

決算書類

第24期

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

〔報告事項〕

第24期営業報告（令和3年4月1日～令和4年3月31日まで）

I. 背景と成果

2021年の我が国経済は、昨年後半から持ち直しの動きが続いているものの、年初から断続的に感染拡大防止を意図した経済活動の抑制が続いている事で、GDPは危機前の水準を回復していない。輸出や投資とそれに関連する生産活動には明るさが広がっており、企業利益は増加する中で業況の改善基調も続いている。一方、人々の生活には感染リスクへの対応が伴っていることから、接触機会の多いサービスへの需要は抑制されており、個人消費は一進一退の動きとなっている。これらの事から、労働需要の改善テンポも緩やかなものに止まっており、一部の業種では、雇用調整助成金や休業支援金・給付金等によって企業の休業期間中の雇用を守っている。したがって、景気は、回復局面にあるものの、自律的な内需の増加から生産、そして所得の増加へとつながる循環的な動きに力強さを欠いており、下振れリスクに対する政策の備えは欠かせない状況が現在も続いている。

そのような状況の中、当地におきましても今年度も引き続き年間通じて新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、2021年度来訪観光客入込総数は422,000人（昨年より38,000人減）となり、今年も新型コロナウイルス感染拡大のあった前年度をさらに下回る結果となり、出石地域の観光経済に大きな痛手となりました。

今期全体売上は、昨年同様新型コロナウイルス感染拡大の影響や2度にわたる緊急事態宣言の発令、たび重なるまん延防止等重点措置等の影響における来訪観光客の減少もある中、営業内容の見直しや営業戦略の転換など日頃取り組んでいる事の営業成果もみられ158,960,997円（前年対比104.2%）となり増収となりました。

しかしながら営業上の内容では、営業利益が▲1,005,975円という結果であり、一時支援金をはじめ、雇用調整助成金など様々な補助金や助成金を取得したことにより、経常利益6,057,614円、当期純利益4,797,481円（前年対比192.8%）となり、今年度も利益を出すことが出来ました。

具体的には、観光センター売店・カフェ部門では、来訪観光客減少における対応策として、来訪観光客の消費ニーズの変容に答えられるよう徹底した商品企画の見直し、厳正なる在庫管理、積極的なレイアウトの変更、安定した利益率の確保など、新型コロナウイルス感染症対策を最大限講じながら堅実な営業を続けて参りました。

トラベル・永楽館・西田屋等の部門は、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響や来訪観光客の減少、イベント自粛・宿泊自粛等の影響が非常に大きく、営業面で非常に苦しい1年が続きました。そのような状況下だからこそ、アフターコロナを見据えた抜本的な営業内容の見直し、SNSを用いた営業活動や城下町出石のプロモーション活動、顧客目線での観光コンテンツ開発やガイド事業等、今までのあり方を見直し、変えられるものは変えていこうと挑戦し続けた1年でありました。その成果が秋口以降、営業上での結果として見えつつあります。

今後も日々取り組んでいる営業内容や今後取り組んでいきたい事の理解を多くの方に得られるよう、行政をはじめ各種団体との連携をしっかりととり、出石町の発展や将来を見据えた出石のまちづくりにより一層貢献できるよう、積極的に取り組んで参ります。

Ⅱ . 当 社 の 概 要 (令 和 4 年 3 月 31 日 現 在)

(1) 資本金

区 分	当 期 末
資 本 金	98,000,000 円

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,960 株
当期末株主総数	333 名

大 株 主	保有株数	持ち株比率
豊 岡 市	400 株	20.40%
NPO 法人但馬國出石観光協会	100 株	5.10%
豊 岡 市 商 工 会	60 株	3.06%

(3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役社長	榮 木 健 二
代表取締役副社長	田 中 藤 一 郎
取 締 役	永 井 秀 和
取 締 役	田 中 覚
取 締 役	中 易 裕 明
取 締 役	古 田 智 久
取 締 役	永 澤 仁
監 査 役	村 上 忠 夫
監 査 役	佐 古 忠 隆

(4) 従業員の状況

区 分	人 数	構 成
正 社 員	8 人	男性 5 人 女性 3 人
契 約 社 員	3 人	女性 3 人
パ ー ト 社 員	8 人	女性 8 人
合 計	19 人	

シルバー人材センター（派遣）	6 人	男性 6 人
観 光 ガ イ ド	4 人	男性 2 人 女性 2 人

(5) 事業内容

1. まちづくり活性化推進事業
2. 出石観光散策ガイド事業
3. 総合観光案内事業
4. 「いずし観光センター」物産販売事業
5. 「和カフェ」飲食販売事業
6. 「出石びっ蔵」集合貸店舗事業
7. 「大手前駐車場」運営事業
8. 「いずしトラベルサービス」旅行業
9. 「出石永楽館」受託管理運営事業
10. 「旅籠西田屋」簡易宿所事業

(6) 主な地域貢献事業

1. 有子山城跡を登ろう会登山道整備補助	4.5万円
2. 全国子ども落語大会協賛	3万円
3. 出石歴史文化交流館（武家長屋）	14万円
4. 出石初午祭奉賛会	10万円
合 計	31.5万円

(7) 教育機関連携協力事業

1. 出石中学校トライやる協力（5日間）
2. 出石高校インターンシップ受け入れ（3日間）
3. 出石高校地域探究ⅠⅡ授業講師協力（2学期）3テーマ×8回

[決議事項]

第1号議案 第24期計算書類承認の件
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(1) 貸借対照表

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 58,830,126】	【流動負債】	【 14,305,964】
現金及び預金	47,840,330	買掛金	6,151,923
売掛金	858,650	未払金	3,552,445
商品	5,266,415	前受金	286,760
未収入金	2,855,394	預り金	1,398,336
仮払金	2,009,337	法人税等充当金	864,300
【固定資産】	【 212,620,394】	未払消費税	2,052,200
(有形固定資産)	(206,020,265)	【固定負債】	【 34,558,779】
建物	19,698,245	長期借入金	30,690,000
建物附属設備	8,186,524	預り保証金	3,868,779
構築物	83,712	負債の部計	48,864,743
什器備品	211,817	純資産の部	
一括償却資産	168,667	【株主資本】	【 223,104,177】
建設仮勘定	861,300	[資本金]	[98,000,000]
土地	176,810,000	[利益剰余金]	[125,104,177]
(無形固定資産)	(589,329)	利益準備金	24,500,000
ソフトウェア	589,329	(その他利益剰余金)	(100,604,177)
(投資その他の資産)	(6,010,800)	退職給付積立金	4,860,000
出資金	10,000	まちづくり積立金	6,193,000
保証金	3,550,000	別途積立金	81,500,000
保険積立金	2,450,800	繰越利益剰余金	8,051,177
【繰延資産】	【 518,400】	(うち当期純利益)	(4,797,481)
繰延資産	518,400	純資産の部計	223,104,177
資産の部計	271,968,920	負債・純資産の部計	271,968,920

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

(2) 損益計算書

科 目	金	額
【売 上 高】		
売 上 高	126,096,466	
飲 食 売 上	10,149,596	
案 内 等 収 入	325,610	
レ ン タ ル 収 入	778,700	
駐 車 場 売 上	21,610,625	158,960,997
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	4,014,856	
仕 入 高	74,923,274	
材 料 費	4,678,286	
合 計	83,616,416	
期 末 棚 卸 高	5,266,415	78,350,001
売 上 総 利 益		80,610,996
【販売費及び一般管理費】		81,616,971
営 業 利 益		△1,005,975
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	396	
受 取 手 数 料	18,425	
雑 収 入	7,349,083	7,367,904
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 ・ 割 引 料	100,932	
雑 損 失	203,383	304,315
経 常 利 益		6,057,614
税 引 前 当 期 純 利 益		6,057,614
法 人 税 等 充 当 額		1,260,133
当 期 純 利 益		4,797,481

(単位：円)

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

(3) 販売費及び一般管理費内訳書

科 目	金 額	
役 員 報 酬	1,440,000	
給 料 手 当	26,828,400	
退 職 金	1,669,900	
退職給付積立金取崩	△1,640,000	
福 利 厚 生 費	6,274,597	
雑 給	11,265,930	
シルバー委託費	4,890,105	
広 告 宣 伝 費	1,683,326	
運 賃	325,921	
燃 料 費	71,801	
衛 生 費	515,846	
購 読 費	40,493	
水 道 光 熱 費	5,124,229	
事 務 費	1,585,915	
消 耗 品 費	1,459,807	
地 代 家 賃	1,050,000	
支 払 保 険 料	732,966	
修 繕 費	213,890	
租 税 公 課	5,215,700	
減 価 償 却 費	4,618,637	
繰延資産償却費	172,800	
接 待 交 際 費	234,571	
旅 費 交 通 費	205,355	
通 信 費	718,033	
支 払 手 数 料	1,457,769	
賃 借 料	739,260	
諸 会 費	522,505	
舞 台 維 持 費	2,299,660	
会 議 費	62,361	
雑 費	1,837,194	
合 計		81,616,971

(4) 株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

株式会社 出石まちづくり公社

(単位:円)

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

	株 主 資 本				資 本			株 主 資 本 計 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 算 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金	利 益 備 蓄 金	剰 余 金					
		資 本 準 備 金	そ の 他 の 資 本 剰 余 金			そ の 他 の 剰 余 金	其 他 剰 余 金				
当 期 首 残 高	98,000,000			24,500,000	98,426,696			220,926,696			220,926,696
当 期 変 動 額											
剰 余 金 の 配 当											△980,000
剰 余 金 の 内 訳 科 目 間 の 振 替											△1,640,000
当 期 純 利 益											4,797,481
当 期 変 動 額 合 計											2,177,481
当 期 末 残 高	98,000,000			24,500,000	100,604,177			223,104,177			223,104,177

	利 益 剰 余 金		剰 余 金		剰 余 金 の 内 訳		利 益 剰 余 金 計 合 計
	利 益 備 蓄 金	退 職 給 付 積 立 金	そ の 他 の 剰 余 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金		
					意 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	
当 期 首 残 高	24,500,000	6,500,000	6,193,000	79,500,000	6,233,696		122,926,696
当 期 変 動 額							
剰 余 金 の 配 当							△980,000
剰 余 金 の 内 訳 科 目 間 の 振 替		△1,640,000		2,000,000			△1,640,000
当 期 純 利 益		△1,640,000		2,000,000			4,797,481
当 期 変 動 額 合 計		4,860,000	6,193,000	81,500,000	8,051,177		2,177,481
当 期 末 残 高	24,500,000	4,860,000	6,193,000	81,500,000	8,051,177		125,104,177

(5) 個別注記表

株式会社 出石まちづくり公社

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料 …………… 最終仕入原価法による原価法

商 品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …………… 56,985,106 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,960 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

③当事業年度中に行った剰余金の処分に関する事項

令和3年6月29日開催の第23期事業年度の定時株主総会で決議

配当金の総額(年1.0%) …………… 980,000 円

別途積立金 …………… 2,000,000 円

④当事業年度末日以後に行う剰余金の処分に関する事項

令和4年6月24日開催予定の第24期事業年度の定時株主総会で決議予定

別途積立金 …………… 3,500,000 円

繰越利益剰余金 …………… 4,551,177 円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 113,828 円 66 銭

1株当たりの当期純利益金 …………… 2,447 円 69 銭